

あなたの手をかしてください

心でつなごう、支えよう

「死にたい」をどう理解する、どう支える

自殺者総数が毎年3万人を超え続けて13年。この間、累積39万人以上が亡くなり、10倍の未遂者がおられることを思うと、改めてその深刻さに愕然とします。家族、友人、同僚や上司、部下を失い苦しむ方々も増え、対策への社会的要請もますます大きくなっています。

市民一人一人が身近な人のつらさを受けとめ、支えていけるように、具体的な対応の仕方を学び、共に支え合い、自殺を防いでいくためのヒントを一つでも得て頂けたらと願っています。

入場無料

(定員/先着300名)

事前申込が
必要です

と き: **平成23年5月29日(日)**

受付/12:30 開演/13:00~14:30

と ころ: **朱鷺メッセ 4F マリンホール**

新潟市中央区万代島6-1

お申込方法

FAX・Eメール・ハガキに必要事項(お名前、住所、電話番号、お勤め先)を明記の上、裏面の申込先までお申込みください。
先着順で定員に達しだい締め切らせていただきます。

主 催/社団法人 日本産業カウンセラー協会 上信越支部

産業カウンセリング41

検索



講師

心理カウンセラー

下園 壮太 氏

死にたいという衝動は、元気な人には、なかなか想像しにくい気持ちです。死にたいと思ってしまう本人も、そのことをどう考えていいかわからないし、周囲も、どう接すればいいかわからない。多くの「死にたい」という気持ちと触れ合ってきた私の経験をもとに、「死にたい」気持ちの背景と、本人の支え方について考えてみようと思います。

下園 壮太氏

メンタル・レスキュー(MR)インストラクター
陸上自衛隊衛生学校コンバットストレス(惨事ストレス)教官



1959年鹿児島県生まれ。防衛大学卒業後、陸上自衛隊に入隊し、自衛隊初の「心理幹部」として数多くのカウンセリング経験をもつ。

現在は陸上自衛隊衛生学校にて、医師、看護師、救急救命士等にメンタルヘルスやカウンセリング等を教育している。カウンセリングセミナーは希望者が多く、なかなか予約もとれない状況の中、今回が新潟で初講演。

<主な著書>

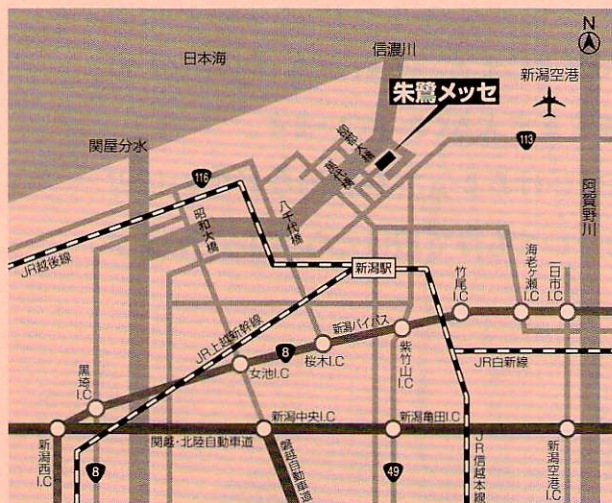
- 『家族・支援者のためのうつ・自殺予防マニュアル』 河出書房新社
- 『人はどうして死にたがるのか』 文芸社
- 『「遺されたつらさ」の受け入れ方』 講談社
- 『相談しがいい人になる』 講談社
- 『あきらめ上手は生き方上手』 マガジンハウス
- 『プチうつ症候群の正しい理解と知識』 日東書院本社
- 『今度こそ、「うつ」から脱け出す本』 大和出版
- 『「困った人」にひそむ「うつ」』 中央法規出版
- 『自殺の危機とカウンセリング』 全剛出版

他多数

その他、うつりハビリ期のDVD、日経ヘルスの連載等



大会会場案内図/交通のご案内



■ JR新潟駅をご利用の方

- 路線バス：万代口バスターミナル5番線より「朱鷺メッセ」経由「佐渡汽船行」に乗車、「朱鷺メッセ」バス停下車すぐ。約15分
- タクシー：万代口から約5分(約800円)
- 徒歩：万代口から約20分

■ 自動車をご利用の方

- 高速道路新潟亀田ICより車で約20分
- 高速道路新潟中央ICより車で約30分
- 高速道路新潟西ICより車で約30分
- 新潟バイパス紫竹山ICより車で約10分

参加申込書

定員300名

※先着順で定員に達しだい締切らせていただきます。

FAX でのお申込みにご利用ください。

	お名前(※)	住所(※)	電話番号(※)	お勤め先
1				
2				
3				

(※印の項目は必ずご記入ください)

お申込方法

FAX・Eメール・ハガキに必要な事項(お名前、住所、電話番号、お勤め先)を明記の上、下記までお申込みください。参加者には後日「参加証」を送付いたします。
※ご連絡いただいた個人情報は、講演会のご案内を差し上げる目的以外で使用することはありません。

お申込 お問合せ

FAX 025-250-7141 / E-mail niigata-pj@jaico-jse.jp
社団法人 日本産業カウンセラー協会 上信越支部 全国研究大会新潟プロジェクト事務局
〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口2-12-10 アバ新潟駅南ビル5階 TEL 025-250-7136